

2009年度 谷口ゼミナール 活動内容

発表者: 山下尚子(4回生)
中村尚樹(3回生)

フィールドワーク

私たち谷口ゼミナールは、畑で無農薬有機農法によって夏野菜を育て、田んぼでは、低農薬でもち米作りを行いました。

1年間の、「いのちのケア」を通じて、育てる難しさや、ケアに応えてくれる喜びを体験しました。また、自らのいのちが、他のいのちによって支えられている「有り難さ」を感じました。

その活動内容をご紹介します。

畑の活動

- 石拾い
- うね立て
- 苗つけ
- 手入れ
- 収穫



石拾い



うねを立てる前に、手作業で畑に転がっている石を拾い集めます。

畝立て



トラクターを使って畑を掘り起こし、うねを立てます。

苗付け



1本1本丁寧に、野菜の苗を植えます。

支柱立て



野菜を支えるため、支柱を立てて、茎と支柱をひもで優しく結びます。

手入れ



週に1回畑に来て、雑草抜き、野菜のわき目取り、手上げを行います。

元気に育った野菜



収穫した野菜



ミニトマト、トマト、なすび、きゅうり、ピーマン、ししとう、とうもろこし、枝豆、つるなしんげん、モロヘイヤ、かぼちゃ、スイカを収穫しました。

収穫祭



収穫してすぐの新鮮な野菜をいただきました。味付けをしなくても、野菜本来の旨味がぎっしり詰まっています。水分や甘味が非常に豊富です。

田んぼの活動

- もみまき
- 田植え
- 手入れ
- 稲刈り
- 脱穀
- 精米
- もちつき



もみまき①



田植えを行なうにあたり、もみまきから行います。

もみまき②



まいたもみをビニールで覆います。このもみが、田植えをするときの苗になります。

田植え



成長した苗を、手作業で田んぼに植えていきます。

雑草抜き



稲の間に生えている雑草を抜きます。夏の蒸し暑い中の作業で、さらに稲に触れるとかゆく、大変です。

成長した稲



稲は順調に成長して穂をつけて、1m
近くになりました。

稲刈り①



稲を、手作業で刈ってゆきます。

稲刈り②



刈った稲は、昨年の藁で束ねてゆきます。

稲刈り③



うまを立てて、束ねた稲を掛けていきます。

乾燥させた稲



うまに稲をかけ、約2週間、稲を乾燥させます。今年は、23うまになりました。

脱穀



乾燥した稲を、足踏み脱穀機で脱穀し、ふるいにかけて、米を収穫します。

精米



脱穀したお米を精米にかけます。真っ白になったお米が、皆さんが普段見ているお米の状態です。

もちつき

精米したもち米は、もちつきをしてお餅にします。

今年は、12月19日(土)にもちつき大会を行います。つきたてのお餅は、真っ白でとても伸びがよく、熱々で甘味があります。市販のお餅とは比べ物にならないくらいおいしいです。

皆様も、ぜひつきたてのお餅を味わってみませんか？

